



2021年11月1日

各 位

会社名 中部鋼鉄株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 重松 久美男  
 (コード番号 5461 名証第1部)  
 問合せ先責任者 取締役総務部長 松田 将  
 (TEL 052-661-3811)

## 2022年3月期第2四半期業績予想と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年5月6日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2021年5月6日に公表いたしました2022年3月期の通期業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 25,600	百万円 1,200	百万円 1,000	百万円 700	円 銭 25.36
実績値 (B)	26,643	881	786	499	18.08
増減額 (B - A)	1,043	△318	△213	△200	—
増減率 (%)	4.1	△26.6	△21.4	△28.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	18,178	1,678	1,624	962	34.88

#### 2. 2022年3月期第2四半期(累計)個別業績予想値と実績値との差異(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,900	百万円 1,000	百万円 800	百万円 500	円 銭 18.11
実績値 (B)	25,163	609	524	356	12.91
増減額 (B - A)	1,263	△390	△275	△143	—
増減率 (%)	5.3	△39.1	△34.5	△28.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	15,785	1,502	1,462	904	32.79

#### 3. 差異の理由

当第2四半期累計期間の売上高は主要製品である厚板の需要回復に伴い、ほぼ当初予想通りとなりました。一方、主原料である鉄スクラップ価格が高騰したことにより、営業利益・経常利益・四半期純利益は当初予想を下回りました。

4. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 52,500	百万円 3,100	百万円 3,000	百万円 1,900	円 銭 68.83
今回修正予想(B)	66,100	5,400	5,300	3,400	123.14
増減額(B-A)	13,600	2,300	2,300	1,500	—
増減率(%)	25.9	74.2	76.7	78.9	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	40,327	2,574	2,532	1,593	57.74

5. 2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 49,000	百万円 2,600	百万円 2,500	百万円 1,600	円 銭 57.96
今回修正予想(B)	63,000	4,700	4,700	3,100	112.28
増減額(B-A)	14,000	2,100	2,200	1,500	—
増減率(%)	28.6	80.8	88.0	93.8	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	35,340	2,128	2,087	1,390	50.38

6. 修正の理由

通期の業績予想につきましては、国内外での厚板需要の回復基調が続き、当社製品においても旺盛な需要が見込まれることから、販売数量及び販売価格が当初の想定を上回る見通しであります。

以上のことから、2021年5月6日公表の2022年3月期通期業績予想を上記の通り修正いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績については今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上